

文部科学省認可通信教育

学習の手引き[別冊]

2022年度 1・2 年次(編)入学者用

2022

 東北福祉大学

本冊子は、1 年次および 2 年次より（編）入学された方へ送付しています。下記目次にあるように、主に各学科のカリキュラムおよび資格取得のご案内を【別冊】としてまとめましたので、ご活用ください。

なお、『学習の手引き』は【本冊】と表記しています。

目 次

1 章 履修とカリキュラム

【本冊】 1 章 4 節に該当

I 開設授業科目一覧の見方	1
II 社会福祉学科 2022年度入学者 開設授業科目一覧	2
III 共通基礎科目・社会福祉学科専門科目 履修系統図	6
IV 社会福祉学科 入学 1 年めの履修登録科目	9
V 社会福祉学科 履修モデル	10
VI 福祉心理学科 2022年度入学者 開設授業科目一覧	13
VII 福祉心理学科での学習開始にあたって	17
VIII 福祉心理学科専門科目 履修系統図	19
IX 福祉心理学科 履修モデル	20
X 福祉心理学科 入学 1 年めの履修登録科目	21
XI 通常と異なる手続きによる履修	23

2 章 資格取得のための履修方法

【本冊】 3 章 1－6 節に該当

I 実習科目の受講にあたって	25
II 社会福祉士国家試験受験資格	26
III 任用資格	38
IV 認定心理士ほか心理学関連の資格	41
V 履修証明プログラム	45

（注）精神保健福祉士国家試験受験資格については、【本冊】 p.96～117 をご参照ください。

【重要】

法改正にともない、2021年度の 1 年次入学者より段階的にカリキュラムが変更となります。特に、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験資格取得をめざされる方は、受験に必要な指定科目の改編、社会福祉士の実習時間の拡充などが主な変更点となります。2024年度より、国家試験も新しい科目で実施されますので、ご承知おきください。

1 章 履修とカリキュラム

学習を進めるにあたって、大切なことがらをまとめて説明します。

I 開設授業科目一覧の見方 社会福祉学科・福祉心理学科(共通)

卒業までに、この欄に記載の単位数分を選んで単位修得してください

科目単位
指定の履修方法で、すべてに合格すると得られる単位

スクーリング単位
[本冊] p.173~174参照

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年度	科目単位	履修方法	スクーリング単位	資格指定科目 社福 精保
(共通基礎科目)	1 18単位以上を選択 2 編 3 編 履修不要					
禅のこころ			1	S	1	
ボランティア論			2	R or SR	1	

配当年度

1年以上 1年生から履修可能です
2年以上 2年生から履修可能です
3年以上 3年生から履修可能です
4年 4年生から履修可能です
(1年次の履修登録では「1年以上」のなかから選択してください)

履修方法 [本冊] p.14参照

R レポート+科目修了試験
SR レポート+スクーリング
R or SR RまたはSRのいずれの方法でも履修可能な科目
S スクーリングのみ
(履修登録の段階では「R」「SR」を決める必要はありません)
一部の科目のスクーリングは、毎年開講されない場合があります。

他学科 開講科目 の履修

各自の関心に応じて、他の学科の科目を履修は可能ですが、自分の所属する学科の開設授業科目一覧にない科目を単位修得しても、卒業要件単位には入りません(ただしその科目のスクーリング単位は卒業要件に算入可)。

※社会福祉学科の方は「心理学研究法B」「臨床心理学概論Ⅱ」「心理的アセスメントⅡ」「心理学的支援法Ⅲ」「福祉心理学演習」「人体の構造と機能及び疾病」「精神疾患とその治療Ⅰ・Ⅱ」の履修はできません。

※福祉心理学科の方は、「医学概論」「精神医学と精神医療Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉演習Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉実習指導Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉実習Ⅰ・Ⅱ」の履修はできません。

※卒業研究は所属する学科の担当教員を指導教員とする必要があります。

Ⅱ 社会福祉学科 2022年度入学者 開設授業科目一覧

以下の表（＝開設授業科目一覧）に記載の科目が、社会福祉学科で卒業単位になる科目の一覧です。

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年次	科目 単位	履修方法	スクー リング 単位	資格指定科目	
						社福	精保
(共通基礎科目) ① 18単位以上を選択 ② 編 ③ 編 履修不要						社会福祉士国家試験受験資格 (p. 26 参照) ↓	精神保健福祉士国家試験受験資格 (「本冊」 p. 96 参照) ↓
禅のこころ		1 年以上	1	S	1		
ボランティア論			2	R or SR	1		
科学的な見方・考え方			2	SR	1		
基礎演習			2	SR	1		
情報処理の基礎			2	SR	1		
データ分析とプレゼンテーション技法			2	R or SR	1		
統計情報を見る眼			2	R or SR	1		
法の基礎			2	R or SR	1		
教育の歴史と思想			2	R or SR	1		
人権と福祉			1	S	1		
社会福祉学入門			1	R or SR	1		
歴史を読み解く			2	R or SR	1		
生命の科学			2	R or SR	1		
睡眠改善学			2	R or SR	1		
コミュニケーション英語	スク受講条件有		2	SR	1		
スポーツの心理学			2	SR	1		
特講 (地域と生活)			1	S	1		
単位互換協定にもとづく認定単位			10	—	(10)		
(専門必修科目) 16単位必修							
医学概論	福祉心理学科の方は履修不可	2 年以上	2	R or SR	1	●	○
福祉心理学		1 年以上	2	R or SR	1	●	○
社会学と社会システム		1 年以上	2	R or SR	1	●	○
社会福祉原論A		2 年以上	2	R or SR	1	●	○
社会福祉原論B		2 年以上	2	R or SR	1	●	○
ソーシャルワークの基盤と専門職		2 年以上	2	R or SR	1	●	○

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年次	科目 単位	履修方法	スクー リング 単位	資格指定科目	
						社福	精保
社会保障論Ⅰ		3年以上	2	R or SR	1	●	○
権利擁護を支える法制度		2年以上	2	R or SR	1	●	○
(専門選択科目) ① 90単位以上を選択 ② 編 78単位以上を選択 ③ 編 46単位以上を選択 ※共通基礎科目で規定の単位数以上修得した単位は専門選択科目の単位数に 含めます							
公的扶助論		3年以上	2	R or SR	1	●	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)		2年以上	2	R or SR	1	●	○
社会福祉調査の基礎		2年以上	2	R or SR	1	●	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2年以上	2	R or SR	1	●	○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2年以上	2	R or SR	1	●	○
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		2年以上	2	R or SR	1	●	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		2年以上	2	R or SR	1	●	
地域福祉と包括的支援体制A		2年以上	2	R or SR	1	●	○
地域福祉と包括的支援体制B		2年以上	2	R or SR	1	●	○
福祉サービスの組織と経営		3年以上	2	R or SR	1	●	
高齢者福祉		1年以上	2	R or SR	1	●	
障害者福祉		1年以上	2	R or SR	1	●	○
児童・家庭福祉		1年以上	2	R or SR	1	●	
社会保障論Ⅱ		3年以上	2	R or SR	1	●	○
保健医療と福祉		3年以上	2	R or SR	1	●	
刑事司法と福祉	セット履修要	2年以上	2	R or SR	1	●	○
ソーシャルワーク演習		2年以上	2	SR	1	●	○
ソーシャルワーク演習Ⅰ		3年以上	3	SR	1	●	
ソーシャルワーク演習Ⅱ		4年	3	SR	1	●	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		3年以上	2	SR	1	●	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		4年	2	SR	1	●	
ソーシャルワーク実習Ⅰ		3年以上	2	実習科目	2	●	
ソーシャルワーク実習Ⅱ		4年	4	実習科目	4	●	
精神医学と精神医療Ⅰ	福祉心理学科の方は履修不可	3年以上	2	R or SR	1		○
精神医学と精神医療Ⅱ	福祉心理学科の方は履修不可	3年以上	2	R			○
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		2年以上	2	R or SR	1		○
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		2年以上	2	R			○
精神保健福祉の原理Ⅰ		2年以上	2	R or SR	1		○
精神保健福祉の原理Ⅱ	セット履修要	2年以上	2	R or SR	1		○
ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)Ⅰ		3年以上	2	R or SR	1		○
ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)Ⅱ		3年以上	2	R or SR	1		○

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年次	科目 単位	履修方法	スクー リング 単位	資格指定科目	
						社福	精保
精神障害リハビリテーション論		2年以上	2	R or SR	1		○
精神保健福祉制度論		2年以上	2	R or SR	1		○
精神保健福祉演習Ⅰ		3年以上	2	SR	1		○
精神保健福祉演習Ⅱ		4年	2	SR	1		○
精神保健福祉実習指導Ⅰ		3年以上	2	SR	1		○
精神保健福祉実習指導Ⅱ		4年	2	SR	1		○
精神保健福祉実習Ⅰ		3年以上	3	実習科目	3		○
精神保健福祉実習Ⅱ		4年	2	実習科目	2		○
福祉ボランティア活動		1年以上	1	R			
発達障害者の地域支援		1年以上	1	S	1		
認知症介護論		1年以上	1	S	1		
介護論		1年以上	2	R or SR	1		
発達障害者の理解と支援		2年以上	2	SR	1		
知的障害がある人とのソーシャルワーク		2年以上	1	S	1		
ケアマネジメント論		3年以上	4	R or SR	1		
NPO論		1年以上	2	R or SR	1		
福祉リスクマネジメント		2年以上	4	R or SR	1		
公衆衛生学		2年以上	4	R			
福祉用具と生活支援		2年以上	4	R or SR	1		
リハビリテーション論		2年以上	2	R or SR	1		
医療・福祉経済論		2年以上	2	R or SR	1		
福祉思想論		1年以上	2	R			
家族法		2年以上	4	R or SR	1		
社会福祉法制		3年以上	4	R or SR	1		
国際福祉論		3年以上	4	R			
心理学概論A	セット履修要	1年以上	2	R or SR	1		
心理学概論B		1年以上	2	R or SR	1		
社会・集団・家族心理学A(社会・集団心理学)		1年以上	2	R or SR	1		
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)		1年以上	2	R or SR	1		
人間関係論		1年以上	1	S	1		
産業・組織心理学		2年以上	2	R or SR	1		
老年心理学A	セット履修要	1年以上	2	R or SR	1		
老年心理学B		1年以上	2	R or SR	1		
発達心理学		2年以上	2	R or SR	1		
発達臨床心理学		2年以上	1	S	1		
教育・学校心理学A(教育心理学)		1年以上	2	R or SR	1		
教育・学校心理学B(学校心理学)		2年以上	2	R or SR	1		

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年次	科目 単位	履修方法	スクー リング 単位	資格指定科目	
						社福	精保
障害者・障害児心理学	セット履修要 スク受講条件有	2 年以上	2	R or SR	1		
ライフサイクルと福祉心理学	セット履修要	1 年以上	1	S	1		
感情・人格心理学	セット履修要	2 年以上	2	R or SR	1		
臨床心理学概論Ⅰ		2 年以上	2	R or SR	1		
司法・犯罪心理学		2 年以上	2	SR	1		
心理的アセスメントⅠ		2 年以上	2	R or SR	1		
災害・防災心理学		2 年以上	1	S	1		
カウンセリングⅠ		1 年以上	1	S	1		
カウンセリングⅡ		1 年以上	1	S	1		
カウンセリング演習Ⅰ	セット履修要	2 年以上	1	S	1		
カウンセリング演習Ⅱ		2 年以上	1	S	1		
知覚・認知心理学		2 年以上	2	R or SR	1		
学習・言語心理学		2 年以上	2	R or SR	1		
特講・社会福祉学Ⅰ(介護保険と社会福祉士の課題)	p. 24参照	1 年以上	1	S	1		
特講・社会福祉学Ⅱ(スクールソーシャルワーク論)	p. 24参照	1 年以上	1	S	1		
特講・社会福祉学Ⅲ(コミュニティ・ソーシャルワークⅢ)	p. 24参照	1 年以上	1	S	1		
特講・社会福祉学Ⅳ(精神科多職種アウトリーチ支援)	p. 24参照	1 年以上	1	S	1		
特講 (防災士研修講座)	p.24、[本冊] p.127参照	1 年以上	1	S	1		
特講・福祉心理学5(自分さがしの心理学)	p. 24参照	1 年以上	1	S	1		
特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学)	p. 24参照	1 年以上	1	S	1		
特講・福祉心理学9 (コミュニティ心理学)	p. 24参照	1 年以上	1	S	1		
特講・福祉心理学17 (認知行動療法)	p. 24参照	1 年以上	1	S	1		
卒業研究	受講条件有	4 年	8	卒業研究			
単位互換協定にもとづく認定単位	p. 23参照	1 年以上	20	—	(20)		

【履修上の注意点 凡例】

セット履修要：他の科目とセット履修が必要な科目、詳細は [本冊] p. 68～69参照

スク受講条件有：スクーリング等の受講条件が課される科目、詳細は p. 17、p. 30～31参照

III

共通基礎科目・社会福祉学科専門科目 履修系統図

履修系統図とは、推奨する学習の順序や各科目の間の関連性を示した図です。

1 共通基礎科目 履修系統図

【履修上の留意点】

- 1) 1年次入学者は、下記の共通基礎科目から、卒業までに18単位以上修得する必要があります。
- 2) 履修方法「SR」「S」科目はスクーリング受講が必須となります。

系統	初歩的な科目	取り組みやすい科目	専門性のある科目
大学での学習の基礎力をつける	基礎演習 情報処理の基礎	科学的な見方・考え方 統計情報を見る眼 データ分析とプレゼンテーション技法	
社会のしくみを学ぶ		禅のこころ 法の基礎 歴史を読み解く 社会福祉学入門 ボランティア論 教育の歴史と思想 スポーツの心理学	人権と福祉 特講（地域と生活）*
からだのしくみを学ぶ		生命の科学	睡眠改善学
語学を学ぶ			コミュニケーション英語

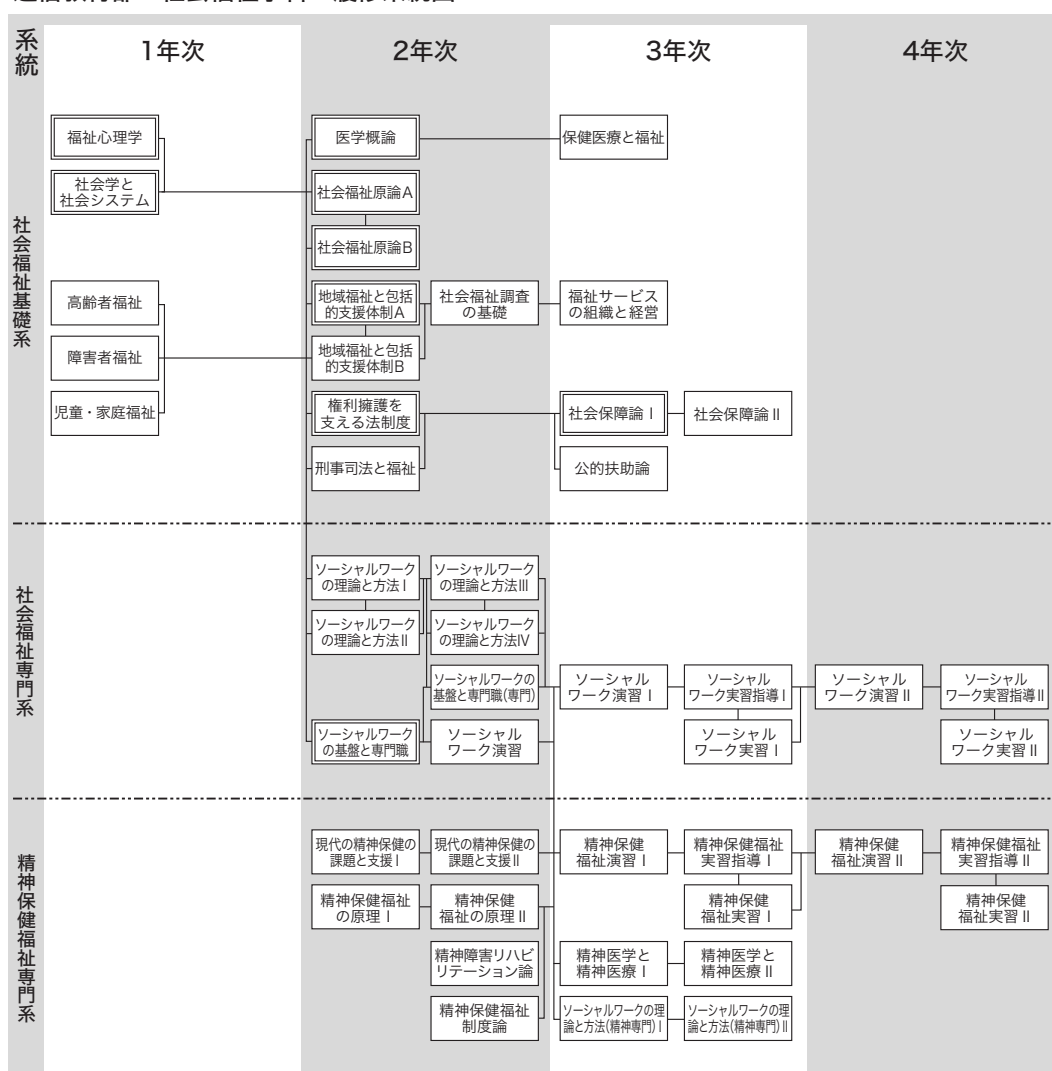
*特講科目 p. 24参照

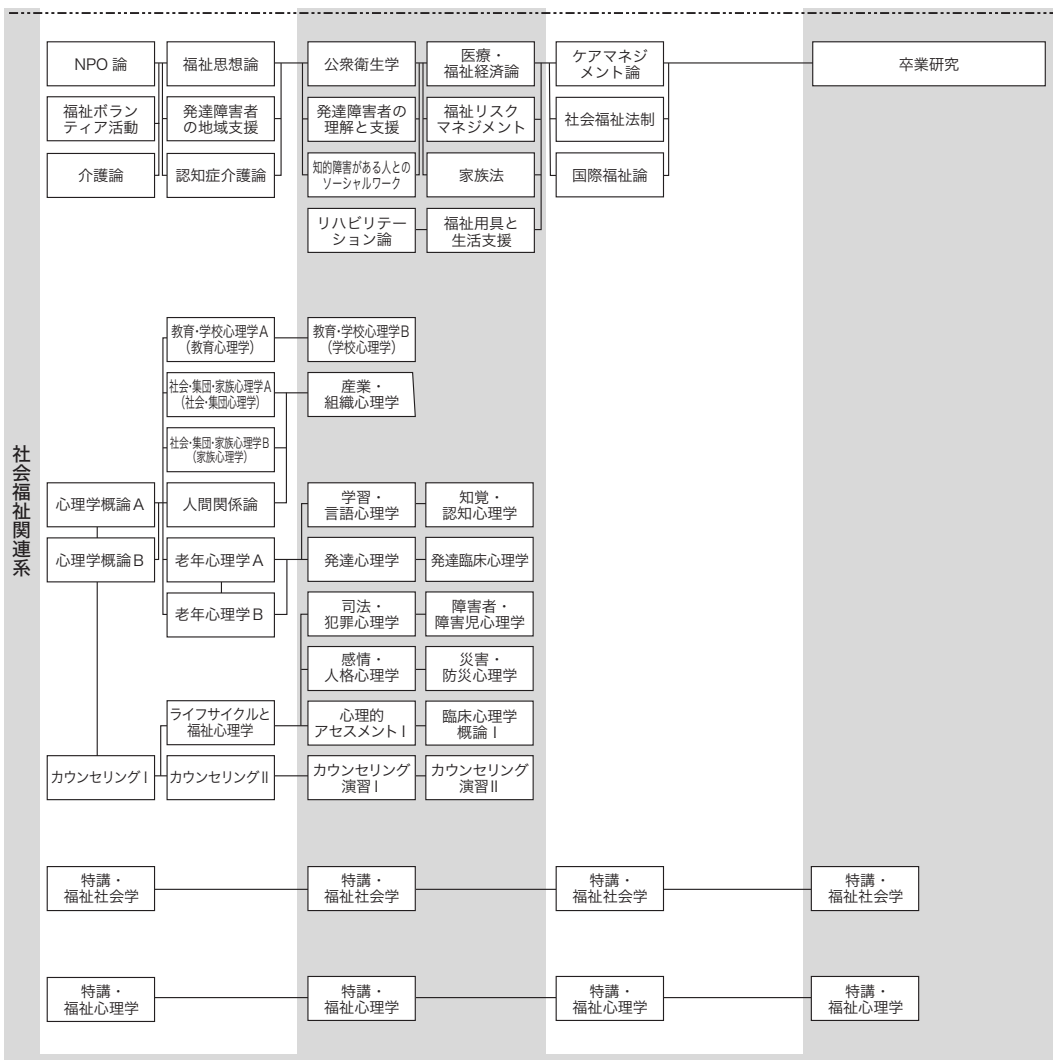
2 社会福祉学科専門科目 履修系統図

【履修上の留意点】

- 1) 配当年次が3・4年の科目は1・2年の科目の理解を基礎にしています。
- 2) ただし、1年の科目の理解がないと、2年の科目に進めないということはありません。受講しやすいスクーリングから受け、取り組みやすいレポートから提出していった方が学習は円滑に進みます。

通信教育部 社会福祉学科 履修系統図





の科目は社会福祉学科の【専門必修科目】

の科目は社会福祉学科の【専門選択科目】

Ⅳ 社会福祉学科 入学１年めの履修登録科目

入学して最初の履修登録を決めるにあたっての留意点は下記のとおりです。

- 1) 入学１年めに学習する科目を40単位以内で選択してください。
- 2) 入学１年めにスクーリングを受講しようと思う科目は履修登録してください。
- 3) 10月生は、３月までに学習予定の20～30単位の履修登録にとどめ、４月以降学習する科目は１～３月の追加履修登録の機会に履修登録をするとよいでしょう。
- 4) 履修登録の一般的な考え方・留意点については〔本冊〕２章に記載があるので、参照のうえ履修登録してください。
- 5) 社会福祉士国家試験受験資格希望者は２章Ⅱを、精神保健福祉士国家試験受験資格希望者は〔本冊〕３章３節を参照のうえ履修登録してください。
- 6) 『入学時履修登録・学習計画ガイド』に掲載の初年度履修登録パターンを利用、アレンジして履修登録科目を決めるのもよいでしょう。

● １年次入学者

- ・ 開設授業科目一覧の配当年次が「１年以上」の科目から履修登録してください。
- ・ p.10～12の「１年次入学者履修モデル」の「１年次」の欄を参考にしても良いでしょう。
- ・ 卒業要件単位数については〔本冊〕 p.37に記載があるので参照ください。

● ２年次編入学者

- ・ 開設授業科目一覧の配当年次が「１年以上」「２年以上」の科目から履修登録してください。「２年以上」の科目を選ぶ場合 p.7～8の「履修系統図」も参考にしてください。
- ・ ２年次編入学者に対する「履修モデル」はありませんが、めざす資格に応じて２章もよく読み、３年次進級後に順調に学習が進められるように履修登録してください。
- ・ 卒業要件単位数については〔本冊〕 p.38～39に記載があるので参照ください。

V

社会福祉学科 履修モデル

履修モデルとは、卒業までに各学年で履修する科目を一例としてあげたものです。

1 社会福祉学科 1 年次入学者 履修モデル

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目
1 年次 (36単位)	禅のこころ(1) ボランティア論(2) 基礎演習(2) 統計情報を見る眼(2) 教育の歴史と思想(2) 社会福祉学入門(1) 睡眠改善学(2)	福祉心理学(2) 社会学と社会システム(2)	高齢者福祉(2) 障害者福祉(2) 児童・家庭福祉(2) 福祉ボランティア活動(1) NPO論(2) 福祉思想論(2)
2 年次 (37単位)	法の基礎(2) 歴史を読み解く(2) 生命の科学(2)	医学概論(2) 社会福祉原論A(2) 社会福祉原論B(2) ソーシャルワークの基盤と専門職(2) 権利擁護を支える法制度(2) 社会保障論Ⅰ(2)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ(2) ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(2) 地域福祉と包括的支援体制A(2) 地域福祉と包括的支援体制B(2) 刑事司法と福祉(2)
3 年次 (30単位)			公的扶助論(2) 福祉サービスの組織と経営(2) 社会福祉調査の基礎(2) 社会保障論Ⅱ(2) 保健医療と福祉(2) 精神保健福祉の原理Ⅰ(2)
4 年次 (21単位)			精神障害リハビリテーション論(2) 精神保健福祉制度論(2) 発達障害者の理解と支援(2) 家族法(4)
合計 (124単位)	18単位	16単位	90単位

2 社会福祉学科(社会福祉士国家試験受験資格取得)1年次入学者 履修モデル

- 4月生は最短4年、10月生は4年半（実習免除者は4年）で卒業・受験資格取得が可能です。
- 履修モデルですので、下表を参考にご自身でアレンジしていただいて構いません。
- 学習計画例は、『入学時履修登録・学習計画ガイド』をご参照ください。

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目(指定科目)	専門選択科目
1年次 (37単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(2) 教育の歴史と思想(2) 人権と福祉(1) 社会福祉学入門(1) 他10単位履修	社会学と社会システム(2) 福祉心理学(2)	高齢者福祉(2) 障害者福祉(2) 児童・家庭福祉(2)	福祉ボランティア活動(1) 発達障害者の地域支援(1) 認知症介護論(1) NPO論(2) 心理学概論A(2) 心理学概論B(2)
2年次 (35単位)		医学概論(2) ソーシャルワークの基盤と専門職(2) 権利擁護を支える法制度(2) 社会福祉原論A(2) 社会福祉原論B(2)	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)(2) ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ(2) ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(2) ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ(2) ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ(2) 地域福祉と包括的支援体制A(2) 地域福祉と包括的支援体制B(2) 刑事司法と福祉(2) ソーシャルワーク演習(2)	介護論(2) 人間関係論(1) 老年心理学A(2) 老年心理学B(2)
3年次 (31単位)		社会保障論Ⅰ(2)	公的扶助論(2) 社会福祉調査の基礎(2) 福祉サービスの組織と経営(2) 社会保障論Ⅱ(2) 保健医療と福祉(2) ソーシャルワーク演習Ⅰ(3) ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(2)* ソーシャルワーク実習Ⅰ(2)*	福祉リスクマネジメント(4) 医療・福祉経営論(2) 福祉用具と生活支援(4) 感情・人格心理学(2)
4年次 (21単位)			ソーシャルワーク演習Ⅱ(3) ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(2)* ソーシャルワーク実習Ⅱ(4)*	発達障害者の理解と支援(2) ケアマネジメント論(4) リハビリテーション論(2) 家族法(4)
合計 (124単位)	18単位	16単位	50単位	40単位

※…実習免除者は履修不要ですので、計10単位分を他科目で補ってください。

3 社会福祉学科(精神保健福祉士国家試験受験資格取得)1年次入学者 履修モデル

下表は、国家試験受験資格取得に必要な精神保健福祉士指定科目を含めた履修モデルの一例です。年度ごとに卒業に必要な単位を履修登録することが、学習開始までの重要なステップになります。

下表および注記を参考に履修登録しましたら、登録した科目について、単位修得のための学習計画を立ててみましょう。その際、卒業要件のスクーリング単位※（30単位分）修得のために、スクーリング受講計画もセットで考えてください。

※履修方法「SR」または「S」で単位修得した際に、科目単位とは別に得られる単位。

		1 年次 (入学 1 年目)	2 年次 (入学 2 年目)	3 年次 (入学 3 年目)	4 年次 (入学 4 年目)	卒業要件 単位(※4)	
共通基礎 科目		禅のこころ 社会福祉学入門 ボランティア論 データ分析とプレゼンテーション技法 法の基礎 他、任意の10単位分を履修	1 1 2 2 2 10			18	
	専門 必修 科目	福祉心理学 社会学と社会システム	2 2	2 2 2 2 2	2	16	
指定 科目 (※1)		障害者福祉	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	133 (124)
	専門 選択 科目	高齢者福祉 児童・家庭福祉 福祉ボランティア活動 発達障害者の地域支援 認知症介護論 社会・集団・家族心理学A 社会・集団・家族心理学B 人間関係論 カウンセリングⅠ カウンセリングⅡ	2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1	2 1 NPO論 福祉リスクマネジメント 産業・組織心理学 発達臨床心理学 教育・学校心理学B 感情・人格心理学 司法・犯罪心理学 心理的アセスメントⅠ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	99 (90)
履修登録 単位(※3)		38	39	38 (33)	18 (14)	133 (124)	

※1 精神保健福祉士指定科目は、国家試験受験資格取得のためにはすべて単位修得が必要です。

※2 実習免除者は、「精神保健福祉実習指導Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉実習Ⅰ・Ⅱ」の4科目・9単位が履修不要です。「履修登録単位」および「卒業要件単位」欄の()内は、上記4科目を除いた単位数です。

※3 1年間で履修登録可能な単位は、授業料の範囲で40単位・超過履修10単位の合計50単位が上限となります。

また、授業料の範囲で履修登録可能な単位は、在学中で160単位までとなり、それ以上は超過履修費がかかります。

※4 卒業に必要な単位は、合計124単位です。

(注) 表は一例です。必修の指定科目を除き、上表に掲載以外の社会福祉学科開設授業科目でも卒業要件単位を満たすことができます。

VI 福祉心理学科 2022年度入学者 開設授業科目一覧

以下の表（＝開設授業科目一覧）に記載の科目が、福祉心理学科で卒業単位になる科目の一覧です。

開設授業科目一覧の見方は p. 1 をご覧ください。

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年次	科目 単位	履修方法	スクー リング 単位	資格指定科目 認定心理士
(共通基礎科目) 1 18単位以上を選択 2 編 3 編 履修不要						認定心理士（●は必修、○から4単位、 ●○○から総計36単位必要、詳しくはp. 41参照）
禅のこころ		1 年以上	1	S	1	
ボランティア論			2	R or SR	1	
科学的な見方・考え方			2	SR	1	
基礎演習			2	SR	1	
情報処理の基礎			2	SR	1	
データ分析とプレゼンテーション技法			2	R or SR	1	
統計情報を見る眼			2	R or SR	1	
法の基礎			2	R or SR	1	
教育の歴史と思想			2	R or SR	1	
人権と福祉			1	S	1	
社会福祉学入門			1	R or SR	1	
歴史を読み解く			2	R or SR	1	
生命の科学			2	R or SR	1	
睡眠改善学			2	R or SR	1	
コミュニケーション英語	スク受講条件有		2	SR	1	
スポーツの心理学			2	SR	1	
特講（地域と生活）			1	S	1	
単位互換協定にもとづく認定単位			10	—	(10)	
(専門必修科目) 15単位必修						
福祉心理学		1 年以上	2	R or SR	1	○
心理学概論A	セット履修要	1 年以上	2	R or SR	1	●
心理学概論B		1 年以上	2	R or SR	1	●
心理学実験ⅠA		1 年以上	1	SR		●
心理学研究法A	セット履修要 スク受講条件有	2 年以上	2	R or SR	1	◎
社会・集団・家族心理学A(社会・集団心理学)		1 年以上	2	R or SR	1	○
発達心理学		2 年以上	2	R or SR	1	○
臨床心理学概論Ⅰ		2 年以上	2	R or SR	1	○

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年次	科目 単位	履修方法	スクー リング 単位	資格指定科目 認定心理士
(専門選択科目A群) 39単位以上を選択履修						
心理学実験ⅠB	セット履修要	1年以上	1	SR	1	●
心理学実験ⅡA	セット履修要	2年以上	1	SR		●
心理学実験ⅡB	セット履修要	2年以上	1	SR	1	●
心理学統計法		2年以上	2	R or SR	1	◎
心理学研究法B	セット履修要 スク受講条件有・社福学科履修不可	3年以上	2	SR	1	
社会・集団・家族心理学B(家族心理学)		1年以上	2	R or SR	1	○
人間関係論		1年以上	1	S	1	○
産業・組織心理学		2年以上	2	R or SR	1	○
老年心理学A	セット履修要	1年以上	2	R or SR	1	○
老年心理学B		1年以上	2	R or SR	1	○
発達臨床心理学		2年以上	1	S	1	○
教育・学校心理学A(教育心理学)		1年以上	2	R or SR	1	○
教育・学校心理学B(学校心理学)		2年以上	2	R or SR	1	○
障害者・障害児心理学	セット履修要 スク受講条件有	2年以上	2	R or SR	1	○
ライフサイクルと福祉心理学	セット履修要	1年以上	1	S	1	
感情・人格心理学	セット履修要	2年以上	2	R or SR	1	○
司法・犯罪心理学		2年以上	2	SR	1	○
心理的アセスメントⅠ		2年以上	2	R or SR	1	○
心理学的支援法Ⅰ	セット履修要 スク受講条件有	2年以上	2	R or SR	1	○
心理学的支援法Ⅱ	セット履修要 スク受講条件有	2年以上	2	R or SR	1	○
災害・防災心理学		2年以上	1	S	1	
臨床心理学概論Ⅱ	セット履修要 受講条件有・社福学科履修不可	3年以上	1	R		
心理的アセスメントⅡ	セット履修要 スク受講条件有・社福学科履修不可	3年以上	1	SR	1	○
心理学的支援法Ⅲ	セット履修要 受講条件有・社福学科履修不可	3年以上	1	R		
健康・医療心理学	セット履修要 スク受講条件有	3年以上	2	R or SR	1	○
カウンセリングⅠ		1年以上	1	S	1	○
カウンセリングⅡ		1年以上	1	S	1	○
カウンセリング演習Ⅰ	セット履修要	2年以上	1	S	1	○
カウンセリング演習Ⅱ		2年以上	1	S	1	○
知覚・認知心理学		2年以上	2	R or SR	1	○
学習・言語心理学		2年以上	2	R or SR	1	○
神経・生理心理学	セット履修要 スク受講条件有	2年以上	2	R or SR	1	○
福祉心理学演習	セット履修要 スク受講条件有・社福学科履修不可	4年	2	SR	1	
特講・福祉心理学5(自分さがしの心理学)	p. 24参照	1年以上	1	S	1	
特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学)	p. 24参照	1年以上	1	S	1	
特講・福祉心理学9(コミュニティ心理学)	p. 24参照	1年以上	1	S	1	

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年次	科目 単位	履修方法	スクー リング 単位	資格指定科目 認定心理士
特講・福祉心理学Ⅶ（認知行動療法）	p. 24参照	1 年以上	1	S	1	
卒業研究	受講条件有	4 年	8	卒業研究		
（専門選択科目 B 群） ① 52 単位以上を選択 ② 編 40 単位以上を選択 ③ 編 8 単位以上を選択 ※共通基礎科目、専門選択科目 A 群で規定の単位以上修得した単位は専門選 択科目 B 群の単位数に含めます						
人体の構造と機能及び疾病	社会福祉学科の方は履修不可	2 年以上	2	R or SR	1	
公的扶助論		3 年以上	2	R or SR	1	
社会学と社会システム		1 年以上	2	R or SR	1	
社会福祉原論A		2 年以上	2	R or SR	1	
社会福祉原論B		2 年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの基盤と専門職		2 年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）		2 年以上	2	R or SR	1	
社会福祉調査の基礎		2 年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2 年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2 年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		2 年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		2 年以上	2	R or SR	1	
地域福祉と包括的支援体制A		2 年以上	2	R or SR	1	
地域福祉と包括的支援体制B		2 年以上	2	R or SR	1	
福祉サービスの組織と経営		3 年以上	2	R or SR	1	
高齢者福祉		1 年以上	2	R or SR	1	
障害者福祉		1 年以上	2	R or SR	1	
児童・家庭福祉		1 年以上	2	R or SR	1	
社会保障論Ⅰ		3 年以上	2	R or SR	1	
社会保障論Ⅱ		3 年以上	2	R or SR	1	
権利擁護を支える法制度		2 年以上	2	R or SR	1	
保健医療と福祉		3 年以上	2	R or SR	1	
刑事司法と福祉	セット履修要	2 年以上	2	R or SR	1	
精神疾患とその治療Ⅰ	社会福祉学科の方は履修不可	3 年以上	2	R or SR	1	
精神疾患とその治療Ⅱ	セット履修要 社福学科履修不可	3 年以上	2	R		
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		2 年以上	2	R or SR	1	
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		2 年以上	2	R		
精神保健福祉の原理Ⅰ		2 年以上	2	R or SR	1	
精神保健福祉の原理Ⅱ	セット履修要	2 年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅰ		3 年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅱ		3 年以上	2	R or SR	1	

授業科目の名称	履修上の注意点	配当年次	科目 単位	履修方法	スクー リング 単位	資格指定科目 認定心理士
精神障害リハビリテーション論		2年以上	2	R or SR	1	
精神保健福祉制度論		2年以上	2	R or SR	1	
福祉ボランティア活動		1年以上	1	R		
発達障害者の地域支援		1年以上	1	S	1	
認知症介護論		1年以上	1	S	1	
介護論		1年以上	2	R or SR	1	
発達障害者の理解と支援		2年以上	2	SR	1	
知的障害がある人とのソーシャルワーク		2年以上	1	S	1	
ケアマネジメント論		3年以上	4	R or SR	1	
NPO論		1年以上	2	R or SR	1	
福祉リスクマネジメント		2年以上	4	R or SR	1	
公衆衛生学		2年以上	4	R		
福祉用具と生活支援		2年以上	4	R or SR	1	
リハビリテーション論		2年以上	2	R or SR	1	
医療・福祉経済論		2年以上	2	R or SR	1	
福祉思想論		1年以上	2	R		
家族法		2年以上	4	R or SR	1	
社会福祉法制		3年以上	4	R or SR	1	
国際福祉論		3年以上	4	R		
特講・社会福祉学Ⅰ(介護保険と社会福祉士の課題)	p. 24参照	1年以上		S	1	
特講・社会福祉学Ⅱ(スクール・ソーシャルワーク論)	p. 24参照	1年以上	1	S	1	
特講・社会福祉学Ⅲ(コミュニティ・ソーシャルワークⅢ)	p. 24参照	1年以上	1	S	1	
特講・社会福祉学Ⅳ(精神科多職種アウトリーチ支援)	p. 24参照	1年以上	1	S	1	
特講(防災士研修講座)	p. 24、[本冊] p. 127参照	1年以上	1	S	1	
単位互換協定にもとづく認定単位	p. 23参照	1年以上	20	—		

【履修上の注意点 凡例】

セット履修要：他の科目とセット履修が必要な科目、詳細は[本冊] p. 68～69参照

スク受講条件有：スクーリング等の受講条件が課される科目、詳細はp. 17参照

Ⅶ 福祉心理学科での学習開始にあたって

福祉心理学科専門必修科目・専門選択科目A群の科目を学習するにあたっての留意点は下記のとおりです。

(1) 会場スクーリングの受講が必須の科目

- ・卒業のために 「心理学実験ⅠA」
- ・認定心理士取得のために 「心理学実験ⅠA・ⅠB」「心理学実験ⅡA・ⅡB」の4科目

(2) 受講条件が課される科目

「心理学実験ⅡB」「心理学研究法A・B」「障害者・障害児心理学」「臨床心理学概論Ⅱ」「心理学的支援法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「心理的アセスメントⅡ」「神経・生理心理学」「健康・医療心理学」「福祉心理学演習」「卒業研究」

※受講条件・留意事項の詳細は『レポート課題集』の各科目を参照（入学2年目以降の履修希望科目の条件も確認）。

※スクーリング受講にあたって事前学習の推奨事項のある科目もあります。詳細は『レポート課題集』の各科目を参照してください。

(3) 受講の順序指定のない科目

- ・以下の科目間に、受講の順序の指定はありません。「Ⅱ」を「Ⅰ」より先に受講しても結構です。

「カウンセリングⅠ」と「カウンセリングⅡ」

「カウンセリング演習Ⅰ」と「カウンセリング演習Ⅱ」

- ・科目名にA・Bが付されている科目は、受講順序の指定はありません。
- ・実験科目は「心理学実験ⅠA」から受けることを推奨しますが、「心理学実験ⅠB・ⅡA」からの受講も可能です。

(4) 『福祉心理学科スタディ・ガイド』も活用ください

本学福祉心理学科の先生からの学習方法のアドバイスやレポートの書き方を掲載しています。参照のうえ学習を進めてください。

(5) 「心理学」の用語辞典

下記辞典のいずれか1冊は購入し活用することをお奨めしています。

- ・ 下山晴彦編集代表『誠信 心理学辞典（新版）』誠信書房、2014年（領域別）
- ・ 外林大作ほか編『誠信 心理学辞典』誠信書房、1981年（五十音順）
- ・ 中島義明ほか編『心理学辞典』有斐閣、1999年（五十音順）

(6) 教科書より平易な入門書もご利用ください

教科書や辞書の文章が難しく感じる場合は、下記のようなよりやさしい心理学の入門書で心理学のイメージをつかんでいただくこともお奨めしています。

- ・ 大井晴策監修『史上最強カラー図解プロが教える心理学のすべてがわかる本』ナツメ社、2012年
- ・ 青木紀久代・神宮英夫編著『カラー版徹底図解 心理学』新星出版社、2008年
- ・ 渋谷昌三著『決定版 面白いほどよくわかる！心理学 オールカラー』西東社、2016年
- ・ 植木理恵著『ゼロからわかるビジュアル図解 心理学』KADOKAWA、2013年
- ・ 加賀谷崇文監修『いちばんよくわかる図解 臨床心理学』成美堂出版、2018年

※他にもありますので、書店などでさがしてみてください。

(7) レポート末尾に掲載する引用文献・参考文献

福祉心理学科では、引用と要約のルール、出典明示の方法、引用・参考文献の表示方法などに厳密な先生が多いので、[本冊] p. 149～150に記載のルールをお守りください。

履修系統図とは、推奨する学習の順序や各科目の間の関連性を示した図です。

【履修上の留意点】

- 1) 「さあ、ここから始めよう」「こちらの科目も基本です！」の科目から学習を開始することを推奨します。
- 2) 共通基礎科目、福祉心理学科専門選択科目B群の科目は、p. 6～8の履修系統図を参考にしてください。
- 3) 「特講・福祉心理学5」、「特講・福祉心理学8」は「さあ、ここから始めよう！」に相当する入門者にふさわしい科目です。その他の特講科目は自身の興味・関心に応じて、選択ください。
- 4) 受講条件が課される科目（p. 17）の条件については、『レポート課題集』を参照ください。



Ⅸ 福祉心理学科 履修モデル

福祉心理学科 1 年次入学者 履修モデル

卒業までにどのような科目を履修するかモデル例です。1 年生から履修可能な専門科目も多いため、この履修モデルにかかわらず関心のある心理学関連科目から学習することも可能です。

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目A群	専門選択科目B群
1 年次 (36単位)	禅のこころ(1) 基礎演習(2) 統計情報を見る眼(2) 科学的な見方・考え方(2) 法の基礎(2) スポーツの心理学(2)	福祉心理学(2) 心理学概論A(2) 心理学概論B(2) 心理学実験ⅠA(1) 社会・集団・家族心理学A(2)	心理学実験ⅠB(1) 教育・学校心理学A(2) カウンセリングⅠ(1) 社会・集団・家族心理学B(2)	高齢者福祉(2) 障害者福祉(2) 児童・家庭福祉(2) 社会学と社会システム(2) 介護論(2)
2 年次 (38単位)	歴史を読み解く(2) 社会福祉学入門(1) 生命の科学(2) 睡眠改善学(2)	発達心理学(2)	心理学実験ⅡA(1) 心理学実験ⅡB(1) 産業・組織心理学(2) ライフサイクルと福祉心理学(1) 学習・言語心理学(2) 老年心理学A(2) 老年心理学B(2) 人間関係論(1) 知覚・認知心理学(2) カウンセリングⅡ(1)	社会福祉原論A(2) 社会福祉原論B(2) ソーシャルワークの基盤と専門職(2) 人体の構造と機能及び疾病(2) 刑事司法と福祉(2) NPO論(2) リハビリテーション論(2)
3 年次 (28単位)		心理学研究法A(2) 臨床心理学概論Ⅰ(2)	心理学統計法(2) 感情・人格心理学(2) 教育・学校心理学B(2) 発達臨床心理学(1) 司法・犯罪心理学(2) 心理的アセスメントⅠ(2) カウンセリング演習Ⅰ(1)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ(2) ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(2) 地域福祉と包括的支援体制A(2) 地域福祉と包括的支援体制B(2) 保健医療と福祉(2) 医療・福祉経済論(2)
4 年次 (22単位)			障害者・障害児心理学(2) 心理学的支援法Ⅰ(2) 心理学的支援法Ⅱ(2) 健康・医療心理学(2) 神経・生理心理学(2) 福祉心理学演習(2)	社会保障論Ⅰ(2) 社会保障論Ⅱ(2) 公的扶助論(2) 精神疾患とその治療Ⅰ(2) 精神疾患とその治療Ⅱ(2)
合計 (124単位)	18単位	15単位	45単位	46単位

1 入学後最初の履修登録科目を決めるにあたっての留意点

入学して最初の履修登録を決めるにあたっての留意点は下記のとおりです。

- 1) 入学1年めに学習する科目を40単位以内で選択してください。
- 2) 入学1年めにスクーリングを受講しようと思う科目は履修登録してください。
- 3) 10月生は、3月までに学習予定の20～30単位の履修登録にとどめ、4月以降学習する科目は1～3月の追加履修登録の機会に履修登録をするとよいでしょう。
- 4) 履修登録の一般的な考え方・留意点については【本冊】2章に記載があるので、お読みいただいたうえで履修登録してください。
- 5) 下記資格の取得希望者は2章の下記ページを参照のうえ履修登録してください。
認定心理士 p. 41～42 福祉心理士 p. 42～43 社会福祉主事任用資格 p. 38～39
- 6) 「心理学概論A・B」「福祉心理学」「心理学実験ⅠA」「社会・集団・家族心理学A」は入学後最初の履修登録で登録してください。
- 7) 『入学時履修登録・学習計画ガイド』に掲載の初年度履修登録パターンを利用、アレンジして履修登録科目を決めるのもよいでしょう。『入学時履修登録・学習計画ガイド』に掲載の初年度履修登録・学習計画パターンは、最短修業年限（1年次入学者＝4年、3年次編入学者＝2年）で卒業するスケジュールになっています。自身のペースをつかみ、学習をお進めください。

●1年次入学者

- ・開設授業科目一覧の配当年次が「1年以上」の科目から履修登録してください。
- ・p.20の「1年次入学者履修モデル」の「1年次」の欄を参考にしてもよいでしょう。
- ・卒業要件単位数については【本冊】p.37に記載があるので参照ください。

●2年次編入学者

- ・開設授業科目一覧の配当年次が「1年以上」「2年以上」の科目から履修登録してください。「2年以上」の科目を選ぶ場合p.19の「履修系統図」も参考にしてください。
- ・2年次編入学者に対する「履修モデル」はありませんが、めざす資格に応じて2章もよ

- く読み、3年次進級後に順調に学習が進められるように履修登録してください。
- ・卒業要件単位数については〔本冊〕 p.38～39に記載があるので参照ください。

【専門選択科目B群の考え方】

「専門選択科目B群」から関心のある科目やスクーリングの受講が可能な科目（1年次入学：52単位以上、2年次編入学：40単位以上、3年次編入学：8単位以上）を選択してください。ただし、「専門選択科目A群」の科目を39単位以上修得予定の場合は、B群の科目はその分減らすことができます。社会福祉主事任用資格取得を希望する方は p.38の指定科目一覧を参照してください。

XI 通常と異なる手続きによる履修

1 単位互換協定による認定単位

●制度の内容

①産業能率大学の授業科目（主としてスクーリング）、②本学通学課程の一部の授業科目を履修し、単位を修得した場合、本学通信教育部の授業科目によって修得したものとみなし、卒業に必要な単位（科目単位・スクーリング単位）に算入できる制度です。スクーリングを受講する機会を増やす目的で行っており、とくに関東・仙台在住の1・2年次（編）入学者にお奨めです。

●卒業に必要な単位に算入できる単位数

1年次入学者：30単位まで

2年次編入学者：20単位まで

※ただし、社会福祉士、精神保健福祉士など諸資格取得のための単位には算入不可。

●受講料

①産業能率大学：1科目あたり10,000円

②本学通学課程：1単位あたり15,000円

※入学金等は不要。超過履修費の対象とはなりません。ただし、スクーリングの欠席・不合格を理由とする受講料の返金はありません。

●受講会場

①産業能率大学：自由が丘キャンパス（東京都世田谷区）で週末開講のスクーリング

②本学通学課程：国見キャンパス（仙台市青葉区国見）で毎週平日に開講されている授業

●諸手続

①産業能率大学

資料請求方法：東北福祉大学通信教育部「特別聴講学生」係宛てに書面（メール〔ua@tfu.ac.jp〕・FAX・郵送）にて、「学籍番号・氏名」「産業能率大学との単位互換協定にもとづくスクーリング資料請求」と記入のうえお知らせください（資料請求後1週間たっても資料が届かない場合、通信教育部「特別聴講学生」係まで至急ご連絡ください）。

資料請求締切・開設科目：『With』にてご案内（予定）

※その後の手続きは送付される資料にてご確認ください。

②東北福祉大学 通学課程

申込方法：通信教育部「学内単位互換」係宛てにメール（ua@tfu.ac.jp）にて、「学籍番号・氏名」「通学課程との学内単位互換希望」をお知らせください。その後に、通学課程教務課にてご説明したうえで、指定様式をお渡しいたします。

※申込みはインターネットに接続されたパソコンを有している方がのみが可能。

申込締切日：3/31

開設科目：本学ホームページ（<https://www.tfu.ac.jp/>）にある学内ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の『シラバス閲覧』ボタンより。ただし、演習・実習・実習指導・実験・研究法の科目は受講できません。

●その他

- (1) 単位互換制度の2023年度以降の実施は未定です。
- (2) 科目等履修生は単位互換制度を利用できません。
- (3) 単位互換科目で修得した成績表示は「認」（認定単位）となり、[本冊] p. 228～229記載のGPAの計算対象科目から除かれます。

2 「特講（防災士研修講座）」の履修方法

「特講（防災士研修講座）」は、事前に履修登録が不要ですが、休学中の方は申込できません。スクーリング申込方法や受講料なども他の科目とは異なります（詳細は[本冊] p. 127参照）。

3 特講科目の履修方法

特講科目は「履修方法：S」でスクーリング受講が必須となります。スクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリング申込みが必要な点は、通常の科目と同様です（[本冊] p. 30参照）が、下記の点にご注意ください。

- (1) 特講科目は、次年度以降の継続した開講をお約束するものではありません。
- (2) スクーリングを受講する年度に履修登録してください。
- (3) 万一、受講できなくなった場合はスクーリング申込締切日までならば特例で履修登録の取消ができます。
- (4) 超過履修費を納入したことがある方は履修取消はできません。
- (5) 教科書がある科目は、スクーリング受講料を期限までに納入した方に発送します。

2 章 資格取得のための履修方法

I 実習科目の受講にあたって

「社会福祉士国家試験受験資格」「精神保健福祉士国家試験受験資格」をめざす方は、実習の受講が必要です（実習免除者を除く）。

実習では、専門職として必要な「知識・技術・福祉サービスの利用への深い理解」「資質・能力・技術の向上」「職業倫理の確立」をめざします。

また、①受け入れ先の職員や利用者・家族・関係者、②実習期間を確保する学生、③実習指導や諸調整を行う大学教職員の三者が多大なエネルギーを注いで実施されるものです。

そのため実習は、資格をいかして業務につくことを目的とする方のみが受講できるものです。単に「資格がほしい」「目標にするため」という動機は厳禁です。

実習を受講するためには、指定の単位修得など受講条件を達成していること、事前指導の内容を十分理解していること、実習先の業務を妨げるおそれのないこと、利用者への深い知識・理解があり人格的にもすぐれていることなどが必要です。

複数の 資格取得

卒業と同時に取得できる任用資格を除いて、複数の資格の取得は大変な努力を要します。また、最短修業年限での卒業は難しくなります。

事情により、「社会福祉士」と「精神保健福祉士」の受験資格を同時にめざす方は、p. 37および【本冊】 p. 117～119をご参照ください。

Ⅱ

社会福祉士国家試験受験資格

1 社会福祉士とは

社会福祉士

社会福祉士とは、わが国はじめての国家資格の社会福祉専門職です。

「社会福祉士及び介護福祉士法」第2条では、社会福祉士は「専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと（「相談援助」）を業とする者」と位置づけられています。

社会福祉士の登録者数は2021年12月末現在260,584名で、（公社）日本社会福祉士会を組織し社会的活動を行っています。

国家試験に合格し、登録を受けることによって、社会福祉士の名称が与えられます（名称独占）が、この資格がなければ相談援助業務に就けない（業務独占）というものではありません。

活躍の場

高齢者支援、障害児・者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援など福祉分野や行政機関のほか、医療、教育、司法など様々な分野に広がっています。また、国が唱える「地域共生社会」の実現に向けて、複合化・複雑化した課題の解決を試みる、重要な役割を担っていくことも期待されています。

本学での履修

本学通信教育部で、社会福祉士国家試験受験資格を得るためには、p.27の指定科目を履修する必要があります。

p.27～37に記載の内容は、2022年2月時点の予定のため、今後変更となる可能性があります。

2 社会福祉士国家試験受験資格取得に関する指定科目

下表より、 ・実習受講者→全科目（31科目66単位）の修得。

・実習免除者→実習科目を除いた科目（27科目56単位）の修得。

※上記科目と併せて、卒業要件（[本冊] p. 37）の達成も必要です。

社会福祉士国家試験受験資格に関する指定科目

厚生労働大臣の指定する 社会福祉に関する科目	本学における 授業科目の名称	配当年次	科目 単位	履修方法	S 単位	オンデ マンド
* 医学概論	医学概論	2年以上	2	R or SR	1	
* 心理学と心理的支援	福祉心理学	1年以上	2	R or SR	1	
☆社会学と社会システム	社会学と社会システム	1年以上	2	R or SR	1	
☆社会福祉の原理と政策	社会福祉原論A	2年以上	2	R or SR	1	
	社会福祉原論B	2年以上	2	R or SR	1	
* ☆社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2年以上	2	R or SR	1	
* ☆ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2年以上	2	R or SR	1	
* ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2年以上	2	R or SR	1	
☆ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2年以上	2	R or SR	1	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2年以上	2	R or SR	1	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2年以上	2	R or SR	1	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2年以上	2	R or SR	1	(注)
☆地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制A	2年以上	2	R or SR	1	
	地域福祉と包括的支援体制B	2年以上	2	R or SR	1	
* 福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	3年以上	2	R or SR	1	
* ☆社会保障	社会保障論Ⅰ	3年以上	2	R or SR	1	
	社会保障論Ⅱ	3年以上	2	R or SR	1	
* 高齢者福祉	高齢者福祉	1年以上	2	R or SR	1	
* ☆障害者福祉	障害者福祉	1年以上	2	R or SR	1	
* 児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	1年以上	2	R or SR	1	
* 貧困に対する支援	公的扶助論	3年以上	2	R or SR	1	
* 保健医療と福祉	保健医療と福祉	3年以上	2	R or SR	1	
* ☆権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2年以上	2	R or SR	1	
* ☆刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2年以上	2	R or SR	1	
* ☆ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	2年以上	2	SR	1	
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習Ⅰ	3年以上	3	SR	1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	4年	3	SR	1	会場の み
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3年以上	2	SR	1	
実習免除者は 履修不要	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4年	2	SR	1	
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3年以上	2	実習科目	2	現場 実習
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	4年	4	実習科目	4	

(注) 2022年2月現在で、上記科目のオンデマンド・スクーリングの開講は未定です。

開講が決まり次第、『試験・スクーリング情報ブック』や機関誌『With』等でお知らせします。

☆＝精神保健福祉士受験資格取得のための指定科目と共通の科目を示します。

*＝「社会福祉士及び介護福祉士法」第7条2に規定されている「社会福祉に関する基礎科目」を示します。基礎科目履修においても社会福祉学科の卒業が必要です。

3 実習免除者への注意事項

「実務経験申告書」と「実務経験証明書」により、指定施設において入学前に1年以上相談援助の業務に就かっていたものと判断された方へのご案内です。（参考：「社会福祉士及び介護福祉士法」第7条第4号、平成20年3月24日付「文部科学省・厚生労働省令第3号」第1条ただし書）

- (1) 「実習指導Ⅰ」「実習指導Ⅱ」「実習Ⅰ」「実習Ⅱ」の4科目10単位分は履修免除となります。
- (2) 履修免除の10単位分は別の科目を修得することで卒業要件単位数を満たす必要があります。
- (3) 最短修業年限での学習計画は、p. 31をご覧ください。まずは、2年次の11/10（10月生は5/10）までに「演習」の受講条件を満たすように学習してください。仙台以外で「演習Ⅰ・Ⅱ」のスクーリングを受講されたい場合、「演習」は2年次の5/10に申込み、「演習Ⅰ」は3年次の6/30に申込み、「演習Ⅱ」は4年次の6/30に申込みとなります。
- (4) 4年次に受講する「演習Ⅱ」スクーリングは、実習免除者のみ対象の2日間連続型（仙台にて8月 or 12月を予定）と、実習受講者と一緒に受講する分割型（各地にて「演習Ⅱ-1」4～5月、「演習Ⅱ-2」10～12月を予定）があります。分割型での受講の場合は、講義進行が実習受講者を中心に組まれていること、また、実習受講者の受講が優先され、定員に余裕のある場合のみ受講許可になることをご了承のうえ、お申込みください。
- (5) ご提出いただいた「実務経験申告書」と「実務経験証明書」の記載内容が事実と反していることがわかり、社会福祉士国家試験を行う社会福祉振興・試験センター等の判断により、実習免除が不可能になったり、合格が取り消されたりした場合、大学ではその責任は負いかねますので、ご了承ください。

4 演習・実習科目 受講の流れ

【実習受講者・免除者 共通】

- 2
年
次**
- 「ソーシャルワーク演習」（2日間）
- ①申込用紙：機関誌『With』巻末様式を使用
 - ②申込締切日：5/10（6月受講）・11/10（1月受講）
 - ③受講条件：【条件Ⅰ】の達成

【実習受講者】

- 3
年
次**
- 「ソーシャルワーク演習Ⅰ」（2日間） 《選考試験実施》
- ①申込用紙：機関誌『With』巻末様式を使用
 - ②申込締切日：6/30（7～8月受講）
 - ③受講条件：【条件Ⅱ】の達成
- 「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-1」（1日間）・「実習指導Ⅰ-2」（1日間）・「実習指導Ⅰ-3」（1日間）
- ①申込用紙：『実習の手引き』巻末様式を使用 ※「SW演習」で配付
 - ②申込締切日：7/31（Ⅰ-1：8月受講 Ⅰ-2：9月受講 Ⅰ-3：11月受講）
 - ③受講条件：【条件Ⅲ】の達成 ④Ⅰ-1・2当日提出物：課題ノート
- 「ソーシャルワーク実習Ⅰ」（8日間以上かつ60時間以上） 11～2月 ※【実習Ⅰ受講条件】の達成
- 「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-4」（1日間）
- ①申込用紙：『実習の手引き』巻末様式を使用
 - ②申込締切日：10/31（1～3月受講）
 - ③事前課題：実習事後レポートおよび実習記録提出
 - ④当日提出物：課題ノート



- 4
年
次**
- 「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ-1」（1日間）
- ①申込用紙：『実習の手引き』巻末様式を使用
 - ②申込締切日：前年度9/15（4月受講）
 - ③受講条件：【実習Ⅱ申込受理条件】の達成
- 「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ-2+演習Ⅱ-1」（2日間）・「実習指導Ⅱ-3」（1日間）
- ①申込用紙：対象者に個別配付
 - ②申込締切日：対象者に個別通知（指導Ⅱ-2+演習Ⅱ-1：4～5月受講 指導Ⅱ-3：6月受講）
 - ③受講条件：【実習Ⅱ申込受理条件】の達成 ④当日提出物：課題ノート
- 「ソーシャルワーク実習Ⅱ」（24日間以上かつ180時間以上） 6～10月
- 「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ-4+演習Ⅱ-2」（2日間）
- ①申込用紙：対象者に個別配付
 - ②申込締切日：8/31（10～12月受講）
 - ③事前課題：実習事後レポートおよび実習記録提出
 - ④当日提出物：課題ノート

【実習免除者】

- 3
年
次**
- 「ソーシャルワーク演習Ⅰ」（2日間）
- ①申込用紙：機関誌『With』巻末様式を使用
 - ②申込締切日：6/30（7～8月受講）・11/30（1月受講）
 - ③受講条件：【条件Ⅱ】の達成



- 4
年
次**
- 「ソーシャルワーク演習Ⅱ」（2日間）
- ①申込用紙：機関誌『With』巻末様式を使用
 - ②申込締切日：6/30（8月受講）・10/31（12月受講）
 - ③受講条件：【条件Ⅳ】の達成

5 演習・実習指導・実習の受講条件（ ）内は条件達成期限

「演習」「実習指導」科目（履修方法「SR」：会場スクーリング）、および「実習」科目は、受講するための条件を満たすことが必要です。

下記申込、受講条件に関するレポート提出等については、全て期限までに本学必着となります。

【実習受講者・免除者 共通】

【条件Ⅰ】「ソーシャルワーク演習」スクーリング受講条件（5/10 または 11/10）

- ① 「ソーシャルワークの基盤と専門職」の1単位めレポート提出。
- ② 「ソーシャルワーク演習」の1単位めレポート提出。
- ③ （入学後1年以上経過した方は）認定単位を除き20単位以上の修得。

【条件Ⅱ】「ソーシャルワーク演習Ⅰ」スクーリング受講条件（6/30 または 11/30）

- ① 「ソーシャルワークの基盤と専門職」の2単位めレポート提出。
- ② 「ソーシャルワーク演習」の2単位めレポート提出。
- ③ 「ソーシャルワーク演習Ⅰ」の1単位めレポート提出。
- ④ 「ソーシャルワーク演習」スクーリング試験の合格。
- ⑤ （入学後1年以上経過した方は）認定単位を除き20単位以上の修得。

【実習受講者】

【条件Ⅲ】「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」スクーリング受講条件（7/31）

- ① 「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の4科目分すべてのレポート提出。
- ② 「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の1課題めレポート提出。
- ③ （「指導Ⅰ-1・2」スクーリング当日までに）『課題ノート』の提出。

【実習Ⅰ受講条件】（9/30・10/31）

- ① 「ソーシャルワーク演習」の単位修得および「ソーシャルワーク演習Ⅰ」のスクーリング試験合格とレポート学習（1単位めは合格、2・3単位めは提出済みであること）。
- ② 「実習計画案」の合格。
- ③ 「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-2」スクーリングで個人記録、健康診断書、抗体検査証明書、誓約書、交通手段の提出。
- ④ 実習開始1カ月前までに実習計画書2部の提出。
- ⑤ 体験学習のWeb受講合格。

【実習Ⅱ申込受理条件】（10/31・11/30・12/20）

- ① （1・2年次入学者は）9/15時点で62単位以上の修得（認定単位を含む）。
- ② 「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」「社会福祉原論A」「権利擁護を支える法制度」の8科目単位修得（①とは別に満たすこと）。

※申込受理条件達成後に、実習受講条件の達成も必要。

【実習免除者】

【条件Ⅳ】「ソーシャルワーク演習Ⅱ」スクーリング受講条件（6/30 または 10/31）

- ① 「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」の単位修得。
- ② 「ソーシャルワーク演習Ⅱ」1・2単位めのレポート提出。
- ③ 社会福祉士・指定科目から40単位以上の修得見込み（認定単位を含む）。
- ④ 卒業要件単位90単位以上の修得見込み。

6 最短で社会福祉士受験資格を得るための受講スケジュール

社会福祉士受験資格を取得するための「演習・実習指導・実習」科目の受講スケジュールは下図のとおりです（各科目の受講条件はp. 30参照）。

【実習受講者】

		4月生	10月生
ソーシャルワーク演習	5/10申込・条件達成 → 6月に受講	もしくは 11/10申込・条件達成 → 1月に受講	2年次
ソーシャルワーク実習Ⅰ申込	2月末まで申込 → 3年次の9/30まで条件達成	2年次	
ソーシャルワーク演習Ⅰ	6/30申込・条件達成 → 7～8月に受講		
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-1	7/31申込・条件達成 → 8月に受講		3年次
ソーシャルワーク実習Ⅱ申込	9/1～15まで申込 → 同年12/20まで条件達成		
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-2	7/31申込・条件達成 → 9月に受講	3年次	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-3	7/31申込・条件達成 → 11月に受講		
ソーシャルワーク実習Ⅰ	11～2月に受講（8日間かつ60時間以上）		
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ-4	10/31申込 → 1～3月に受講		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ-1	前年度9/1～15まで申込 → 4月に受講		4年次
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ-2 + 演習Ⅱ-1	個別ご案内の締切まで申込 → 4～5月に受講		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ-3	個別ご案内の締切まで申込 → 6月に受講	4年次	
ソーシャルワーク実習Ⅱ	6～10月に受講（24日間かつ180時間以上）		4年次 (在籍延長)
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ-4 + 演習Ⅱ-2	8/31申込 → 10～12月に受講		

【実習免除者】

【実習免除者】				4月生・10月生
ソーシャルワーク演習	5／10申込・条件達成 6月に受講	もしくは	11／10申込・条件達成 1月に受講	2年次
ソーシャルワーク演習Ⅰ	6／30申込・条件達成 7～8月に受講	もしくは	11／30申込・条件達成 1月に受講	3年次
ソーシャルワーク演習Ⅱ	6／30申込・条件達成 8月に受講	もしくは	10／31申込・条件達成 12月に受講	4年次

7 単位修得条件を満たすためには（実習受講希望者向け）

下記の期日までに学習を終えてください。

【実習申込受理条件達成のためには】

1) レポート 受理判定日（10/31、11/30、12/20）の1カ月前までに提出し、判定日までに合格していること。再提出になった場合、間に合わなくなる可能性もあるので、早めに提出してください。

スクーリングを受講する科目のレポートを単位修得条件に入れる場合は、判定日の1カ月前までに提出する必要があります。

2) 科目修了試験 10/31・11/30が判定日の場合は第3回（9月）、12/20・1/31が判定日の場合は第4回（11月）の科目修了試験までに受験し、合格していることが必要です。

3) スクーリング 各判定日の1カ月前までのスクーリングを受講して合格していること。オンデマンド・スクーリングの場合は試験結果の「評価登録」が各判定日までに設定されている科目について、合格していること。なお、「演習Ⅰ」のスクーリング時に実施する選考試験に合格することも必要です。

【指定科目40単位以上の単位修得のためには】

原則として、実習開始2カ月前までにレポートおよび科目修了試験・スクーリング試験に合格していることが必要になります。評価には、1カ月程度の時間がかかりますので、遅くとも実習開始3カ月前までには提出や受験をしておく必要があります（ただし、6～7月の実習開始希望の場合、実習開始1カ月前を目安にし学習してください。第1回（5月）までの科目修了試験が合格でも可）。

8 ソーシャルワーク実習の概要

科目名	ソーシャルワーク実習Ⅰ	ソーシャルワーク実習Ⅱ
実習種別	福祉施設（p. 34～35参照）	実習Ⅰと種別が異なる福祉施設
配当年次	3年以上	4年
実習期間	11月第3週～2月	6月第3週～10月第2週
日数・期間	8日間かつ60時間以上	24日間かつ180時間以上
	・平日の日中における連続実施が原則です。 ・「実習Ⅱ」のみ、2分割での実施が可能です。 ・日程は、施設の提示と本学の調整にて決定します（参考にご希望を伺います）。	

申 込	実習前年度の2月末までに通信教育部へ申込 →『実習の手引き 第1分冊』巻末様式	実習前年度の9/1-15に通信教育部へ申込 →『実習の手引き 第1分冊』巻末様式
	『実習の手引き 第1分冊』は、「SW演習」スクーリング時に配付したものを卒業まで使用。	
実習可能地域	北海道 東北（青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島） 関東（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川） 甲信越（新潟） ※上記以外の地域については、ご自身で実習先を確保していただく場合があります。 ※お住いの都道県内、および市町村内にて、実習先が確保できない場合があります。	
実 習 先	ご希望を参考に、本学にて配属します。 ・p.34～35記載の種別で、実習指導者が在籍している施設。 ※参考に登録施設をご案内します（「SW演習」スクーリングにて）。 ※勤務先でも可です（所属長の了解のもと休暇取得のうえで）。 ※医療機関での実習は、勤務経験を有すること、事前課題に合格することが前提です。 ※実習先への依頼は本学より行います。	
巡回・帰校指導	実習期間中、週1回のペースで本学教員により下記の指導を実施します。 ・巡回指導：実習先に教員が訪問します。 ・帰校指導：指定の会場にお集まりいただきます。 ※原則土or日曜日。90分程度。 ※仙台・札幌・青森・盛岡・秋田・山形・福島・東京・新潟の各地 ※実習Ⅰ→巡回1回、実習Ⅱ→巡回1回・帰校3回（帰校指導を巡回指導に変更する場合は15,000円〔1回につき〕が追加となります）。	
留 意 事 項	・実習期間中は、オンデマンドを含むスクーリングの受講、およびご勤務はできません。 ・通常の学習に加え、実習に関する課題（実習計画の立案、課題ノート）に取り組みます。 ・感染症予防として実習前2週間程度の健康観察や、他県への移動制限等を行う場合があります。 ・感染症や災害ほか本学の判断により、施設での実習を中止し、在宅にてTFUオンデマンドやオンラインなどインターネットを活用した実習とする場合があります。	
備 考	・精神保健福祉士または介護福祉士の資格を有する方（見込を含む）は、実習時間240時間のうち60時間が免除となる可能性があります。別途書類をご提出いただきます。	

※「社会福祉士」「精神保健福祉士」両方の実習を行う場合、p.37および【本冊】p.117～119も参照ください。

9 ソーシャルワーク実習 実習対象施設の種別

- ・実習先の実習指導者が「社会福祉士の資格取得後3年以上相談援助業務に従事した経験のある者で、かつ厚生労働大臣が基準を定める実習指導者講習会を修了した者」などという省令による要件が課されています。
- ・東海・北陸・近畿地方以西での実習については実習先を各自で確保していただきます。
- ・法令で定められた実習先の種別は以下のとおりです。ただし、対象施設・事業であっても上記要件等により実習が認められない場合もありますのでご了承ください。

◎**実習対象施設**（昭和62年厚生省告示第203号；最終改正 平成29年厚生労働省告示第129号）

- ①児童福祉法（昭和22年法律第164号）に規定する児童相談所、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、福祉型障害児入所施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、指定発達支援医療機関、障害児通所支援事業及び障害児相談支援事業
- ②医療法（昭和23年法律第205号）に規定する病院及び診療所*
- ③身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）に規定する身体障害者更生相談所及び身体障害者福祉センター
- ④精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）に規定する精神保健福祉センター
- ⑤生活保護法（昭和25年法律第144号）に規定する救護施設、更生施設、授産施設及び宿泊提供施設
- ⑥社会福祉法（昭和26年法律第45号）に規定する福祉に関する事務所及び市町村の区域を単位とする社会福祉協議会の事務所
- ⑦売春防止法（昭和31年法律第118号）に規定する婦人相談所及び婦人保護施設
- ⑧知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）に規定する知的障害者更生相談所
- ⑨障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）に規定する広域障害者職業センター、地域障害者職業センター及び障害者就業・生活支援センター
- ⑩老人福祉法（昭和38年法律第133号）に規定する老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター及び有料老人ホーム並びに老人デイサービス事業
- ⑪母子及び父子並びに寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）に規定する母子・父子福祉センター
- ⑫更生保護事業法（平成7年法律第86号）に規定する更生保護施設
- ⑬介護保険法（平成9年法律第123号）に規定する介護老人保健施設及び地域包括支援センター並びに居宅サービス事業のうち通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護又は特定施設入居者生活介護を行う事業、地域密着型サービス事業のうち地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護又は複

合型サービスを行う事業、居宅介護支援事業、介護予防サービス事業のうち介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護又は介護予防短期入所療養介護を行う事業、地域密着型介護予防サービス事業のうち介護予防認知症対応型通所介護、介護予防小規模多機能型居宅介護又は介護予防認知症対応型共同生活介護を行う事業、介護予防支援事業並びに地域支援事業のうち第一号通所事業又は第一号介護予防支援事業

⑭独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法（平成14年法律第167号）の規定により独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が設置する施設

⑮発達障害者支援法（平成16年法律第167号）に規定する発達障害者支援センター

⑯障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）に規定する障害者支援施設、福祉ホーム及び地域活動支援センター並びに障害福祉サービス事業のうち療養介護、生活介護、短期入所、重度障害者等包括支援、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援及び共同生活援助を行う事業並びに一般相談支援事業又は特定相談支援事業

⑰高齢者又は身体障害者に対し老人福祉法第10条の4第1項第2号に規定する便宜又は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律附則第8条第1項第6号に規定する障害者デイサービスのうち同法附則第34条の規定による改正前の身体障害者福祉法第4条の2第3項に規定する身体障害者デイサービスを供与し、あわせて高齢者、身体障害者等に対する食事の提供その他の福祉サービスで地域住民が行うものを提供するための施設

⑱ 前各号に準ずる施設又は事業（『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』参照）

＊病院・診療所は条件付きで実習機関として認めます（ただし体験学習機関としては認められません）。
病院・診療所で実習を行う条件は「医療機関において勤務経験のある者であり、医療ソーシャルワークに関して十分理解ある方」（レポートを提出し、合格が必要）のみとなります。

10 社会福祉士国家試験

- ・例年2月上旬に各地で行われます。
- ・『受験の手引』の取り寄せ、および試験の詳細は、「社会福祉振興・試験センター」のホームページをご確認ください（例年の『受験の手引』取り寄せ期間：受験前年8月上旬～9月中旬、受験申込受付期間：受験前年9月上旬～10月上旬）。
- ・3月末の卒業予定者は、卒業見込として受験できます（ただし、3月末に卒業しなかった場合、たとえ国家試験に合格しても、合格は取消されます）。
- ・「受験申込に必要な証明書」の申請方法は下記枠内のとおりです。
- ・大学では、「国家試験対策講義」などを開講しています。民間業者や各地の社会福祉士会で行っている講座・模擬試験などもご活用ください。

●「受験申込に必要な証明書」の申請方法

8/1～9/25（予定）に、[本冊] 巻末様式8「各種証明書申込書」にて通信教育部に申請してください（9月卒業の方も見込証明書を申請してください）。

※90単位以上（指定科目40単位以上）の修得が発行条件です。

正科生→「社会福祉士指定科目履修見込証明書」

科目等履修生→「社会福祉士指定科目（実習科目）履修見込証明書」（通学課程教務部または通信教育部へ「社会福祉士指定科目履修証明書」も別途申請してください）

●受験後に必要な手続き

国家試験受験後、[本冊] 巻末様式5「国家試験受験番号連絡票・国家試験証明書申請用紙」を通信教育部に提出していただくことで、「社会福祉士指定科目履修証明書」を大学から試験センターに送付いたします。

11 社会福祉士と精神保健福祉士の両方の資格取得希望の方

1 年次入学・2 年次編入学の方

追加履修登録も超過履修費も必要ありません。学習の進め方としては、社会福祉士受験資格取得を優先に 2 年次以降に精神保健福祉士の指定科目を含めて履修してください。

【実習受講の流れ】

(3 年次) ソーシャルワーク実習Ⅰ (8 日間) → (4 年次) ソーシャルワーク実習Ⅱ (24 日間) → 精神保健福祉実習Ⅰ (8 日間) → (5 年次) 精神保健福祉実習Ⅱ (12 日間)
※ソーシャルワーク実習Ⅱは、原則 6 月第 3 週～8 月第 2 週の期間内に終えていただく必要があります。

【履修上の注意】

両方の受験資格取得希望の場合、共通基礎科目 18 単位・社会福祉士の指定科目・精神保健福祉士の指定科目以外にも、卒業に必要な単位を満たす必要がありますので、ご注意ください。

Ⅲ 任用資格

任用資格とは、公務員などの採用試験に合格し、かつ専門職として配置されていかされる資格です。福祉医療関係の施設への就職に際し、資格要件として求められる場合もあります。

p. 38～39の任用資格取得者は、卒業後、証明書がなくても履歴書に記載ができます（申請により「任用資格取得証明書」の発行は可能です）。

1 社会福祉主事任用資格

社会福祉主事は、都道府県、市町村の福祉事務所などに配置され、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法に定める援護、育成または更生の措置に関する事務を行います（社会福祉法 第18・19条）。社会福祉施設の「生活指導員」の応募に際して、任用資格を取得していることが条件の場合もあります。

社会福祉学科の方は、卒業すれば必ず下表の1～17の枠のなかから3科目以上の単位修得をしていますので、社会福祉主事任用資格が取得できます。

■社会福祉主事任用資格に関する指定科目■

枠	本学の科目名	配当年次	科目単位	本学での履修方法
1	社会福祉原論A	2年以上	2	1～17の枠別に3科目以上履修のこと。
	社会福祉原論B	2年以上	2	
2	ソーシャルワークの基盤と専門職	2年以上	2	次の科目は、2科目を履修して1科目と計算する。 ●社会福祉原論A・B ●ソーシャルワークの基盤と専門職・ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） ●ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ
	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2年以上	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2年以上	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2年以上	2	
3	福祉サービスの組織と経営	3年以上	2	●社会保障論Ⅰ・Ⅱ
4	社会保障論Ⅰ	3年以上	2	
	社会保障論Ⅱ	3年以上	2	●精神医学と精神医療Ⅰ・Ⅱ
5	公的扶助論	3年以上	2	
6	児童・家庭福祉	1年以上	2	●精神疾患とその治療Ⅰ・Ⅱ
7				
8	障害者福祉	1年以上	2	●現代の精神保健の課題と支援Ⅰ・Ⅱ
9	精神医学と精神医療Ⅰ	3年以上	2	
	精神医学と精神医療Ⅱ	3年以上	2	●地域福祉と包括的支援体制A・B
	精神疾患とその治療Ⅰ	3年以上	2	
	精神疾患とその治療Ⅱ	3年以上	2	ただし、児童・家庭福祉は1科目として計算する。
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2年以上	2	
10	高齢者福祉	1年以上	2	
11	地域福祉と包括的支援体制A	2年以上	2	
	地域福祉と包括的支援体制B	2年以上	2	
12	権利擁護を支える法制度	2年以上	2	
13	福祉心理学	1年以上	2	
14	社会学と社会システム	1年以上	2	
15	公衆衛生学	2年以上	4	
	医学概論	2年以上	2	
16	人体の構造と機能及び疾病	2年以上	2	
	リハビリテーション論	2年以上	2	

福祉心理学科の方は、前ページの表の1～17の枠の中から3つの枠を選んで3科目以上単位修得したうえで卒業すれば取得できます。枠13の「福祉心理学」は福祉心理学科卒業の必修科目ですから、残り2枠を選んで2科目を履修すればよいことになります。

2 児童指導員任用資格

児童指導員は、児童養護施設、知的障害児施設、肢体不自由児施設などに配置され、児童の生活指導を行います（児童福祉施設最低基準 第42・43・49・56・61・69・73・75条）。

社会福祉学科・福祉心理学科の方とも、卒業すれば取得できます。

3 知的障害者福祉司任用資格

知的障害者福祉司は、都道府県、市町村の福祉事務所や知的障害者更生相談所に配置され、知的障害者の福祉に関する事務を行います（知的障害者福祉法 第13条）。

社会福祉学科・福祉心理学科の方とも、卒業すれば取得できます。

4 心理判定員・児童心理司任用資格

心理判定とは、児童相談所や精神科の病院などで、主に心理検査や面接を実施し、診断や治療効果測定のための資料を提供する仕事です。明確な資格の規定はありませんが、大学において心理学を専攻して卒業した者が心理判定の仕事ができることになっています。

具体的には、来談者（クライアント）について、知能検査、人格検査などを行ったり、さらに面接や行動観察を行ったりすることによって、判定会議などへの資料を提供することです。判定会議に出席して意見を述べるだけでなく、時には医師や児童福祉司、ソーシャルワーカーなどとチームを組んで心理治療に当たることもあります。

このような心理判定をする者が必要とされる主な職場には、児童相談所、精神保健福祉センター、婦人相談所、知的障害者更生相談所、身体障害者更生相談所、各種福祉施設、病院（精神科・神経科）などがあります。

なお、2015年度以降、児童相談所で働く「心理判定員」の名称が「児童心理司」に変更されています（「児童相談所運営指針」）。「学校教育法に基づく大学において、心理学を専修する学科を修めて卒業した者」が任用資格を有することに変更はありません（「児童福祉法」第12条の3②、「身体障害者更生相談所の設置及び運営について」など）。

心理判定員・児童心理司任用資格は、福祉心理学科を卒業すれば取得できます。なお、

福祉心理学科卒業者で希望のある方には、「任用資格取得証明書」という名称で「心理判定員」および上記 1～3 のうち取得できた任用資格を証明する書類が発行可能です。

5 本学では証明書を発行できない任用資格

●児童福祉司任用資格

児童福祉司は、児童相談所に配置され、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、必要な指導等を行います（児童福祉法 第13条）。

児童福祉司任用資格は、2004年11月の「児童福祉法」の改正により、大学において心理学、教育学、もしくは社会福祉学を修めて卒業した者という条件だけでなく、その後1年以上児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事した者という条件も追加されました。

卒業後1年の実務経験を有するかについては任用する都道府県・市町村などで判断すべき事項ですので、本学で児童福祉司任用資格を有しているという証明書の発行はいたしません。

なお、「社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験合格者」は実務経験がなくても任用資格を有します（児童福祉法第13条・児童福祉法施行規則第6条）。

●精神保健福祉相談員任用資格

精神保健福祉相談員は、都道府県、市町村の精神保健福祉センターや保健所などに配置され、精神保健福祉に関する相談に応じたり、精神障害者やその家族等を訪問して必要な指導を行います（精神保健福祉法 第48条）。

精神保健福祉相談員任用資格取得の条件の1つとして、「大学で社会福祉に関する科目または心理学の課程を修めて卒業した者であって、精神保健、精神障害者の福祉に関する知識および経験を有する者」と定められています。「大学で社会福祉に関する科目または心理学の課程を修めて卒業した者」という条件は社会福祉学科・福祉心理学科を卒業した方ならば満たしますが、「精神保健、精神障害者の福祉に関する知識および経験を有する者」という条件は任用する都道府県、市町村などで判断すべき事項ですので、本学で精神保健福祉相談員任用資格を有しているという証明書の発行はいたしません。

なお、「精神保健福祉士」は「精神保健福祉相談員任用資格」を有しています。

IV

認定心理士ほか心理学関連の資格

福祉心理学科を卒業することで得られる任用資格についてはⅢでご確認ください。ここでは、心理学関連の学会認定資格（認定心理士、福祉心理士）や、その他心理学関連の資格や職業についてご説明します。

1 認定心理士

認定心理士とは、「心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」と日本心理学会が認定する資格です。

科目	領域	本学の科目名	配当年次	履修方法	科目単位	本学での履修方法 (総計36単位以上修得)
基礎科目	a 心理学概論	心理学概論A	1年以上	R or SR	2	2科目4単位 必修
		心理学概論B	1年以上	R or SR	2	
	b 心理学研究法	心理学研究法A	2年以上	R or SR	2	2科目4単位 必修
		心理学統計法	2年以上	R or SR	2	
	c 心理学実験・実習	心理学実験ⅠA	1年以上	SR	1	4科目4単位 必修
		心理学実験ⅠB	1年以上	SR	1	
		心理学実験ⅡA	2年以上	SR	1	
		心理学実験ⅡB	2年以上	SR	1	
選択科目	d 知覚心理学・学習心理学	知覚・認知心理学	2年以上	R or SR	2	d、f、g、h の4領域中3 領域が各4単位 以上で、かつ5 領域の小計が24単位 以上修得のこと
	e 生理心理学・比較心理学	学習・言語心理学	2年以上	R or SR	2	
	f 教育心理学・発達心理学	神経・生理心理学	2年以上	R or SR	2	
		発達心理学	2年以上	R or SR	2	
		発達臨床心理学	2年以上	S	1	
		老年心理学A	1年以上	R or SR	2	
		老年心理学B	1年以上	R or SR	2	
		教育・学校心理学A（教育心理学）	1年以上	R or SR	2	
	g 臨床心理学・人格心理学	教育・学校心理学B（学校心理学）	2年以上	R or SR	2	
		福祉心理学	1年以上	R or SR	2	
		障害者・障害児心理学	2年以上	R or SR	2	
		感情・人格心理学	2年以上	R or SR	2	
		臨床心理学概論Ⅰ	2年以上	R or SR	2	
		心理的アセスメントⅠ	2年以上	R or SR	2	
		心理学的支援法Ⅰ	2年以上	R or SR	2	
		心理学的支援法Ⅱ	2年以上	R or SR	2	
		司法・犯罪心理学	2年以上	SR	2	
		カウンセリングⅠ	1年以上	S	1	
		カウンセリングⅡ	1年以上	S	1	
		カウンセリング演習Ⅰ	2年以上	S	1	
		カウンセリング演習Ⅱ	2年以上	S	1	
		健康・医療心理学	3年以上	R or SR	2	
	h 社会心理学・産業心理学	社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学）	1年以上	R or SR	2	
		社会・集団・家族心理学B（家族心理学）	1年以上	R or SR	2	
		産業・組織心理学	2年以上	R or SR	2	
		人間関係論	1年以上	S	1	
その他	i 心理学関連科目・卒業論文	卒業研究	4年	卒業研究	(4)※	

※本学では「卒業研究」は8単位ですが、認定心理士認定委員会では4単位として認定するため、4単位と表記しています。

認定心理士の資格は、表の条件を満たし、本学を卒業後に日本心理学会認定委員会に申請することで取得できます（ただし、四年制大学既卒の方は、本学の卒業は不要です）。社会福祉学科で取得する場合は、卒業要件に含めることのできない科目もありますのでご注意ください。

■認定心理士の申請について■

資格の申請は、卒業（必要科目の単位修得）後に各自で日本心理学会へ行きます。「認定心理士資格申請の手引き」や日本心理学会のホームページでご確認ください。

■本学で発行可能な証明書■

	証明書	発行手数料
(1)	心理学関係科目修得単位表（様式3）	500円（2枚1セット）
(2)	基礎科目c領域実験・実習課題リスト（様式4）	
(3)	単位修得成績証明書	300円（1通）
(4)	卒業証明書	300円（1通）

※(1)(2)は本学通信教育部で修得した資格要件単位数が18単位以下の場合は、証明者として捺印できませんのでご了承ください。

※シラバス（『レポート課題集』）のコピーは、ご自身で準備していただく必要があります。通信教育部ホームページ「卒業生の方へ」からダウンロードしていただくか、各年度の『レポート課題集』を保管しておいてください。なお、本学からシラバスのコピーの郵送を希望される場合は、任意の書面に学籍番号、氏名、「認定心理士申請のためのシラバスのコピー送付希望」と記載し、手数料500円分の定額小為替証書を同封のうえ、郵送でご提出ください。

2 福祉心理士

福祉心理士とは、「福祉サービスを利用する人のアセスメントを行ったり、サービス利用者やその家族、そして、そこで働く職員の福祉心理相談・支援を行ったりするうえで専門家として求められる基礎学力と技能を修得している」と日本福祉心理学会が認定する資格です。

福祉心理士の資格は、本学では下記【A類型】【B類型】での取得となります。

【A類型】 本学で次ページの表の条件を満たし、本学を卒業後に日本福祉心理学会福祉心理士資格認定委員会に申請することで取得できます（ただし、指定科目に未履修がある場合、科目等履修生としての単位修得も可）。

【B類型】申請時において、すでに社会福祉施設等での実務経験を3年以上有しており、本学で下表の、①「心理学」、②「福祉心理学」もしくは「臨床心理学」、③「社会福祉学」、④「心理査定法」、⑤「カウンセリング（心理相談）」もしくは「心理療法」、⑥「発達心理」もしくは「児童心理」もしくは「障害者の心理」もしくは「高齢者の心理」、⑦「社会福祉援助技術」もしくは「相談援助」の必修指定科目7科目について各2単位以上を修得し、本学を卒業後に日本福祉心理学会福祉心理士資格認定委員会に申請することで取得できます（ただし、指定科目に未履修がある場合、科目等履修生としての単位修得も可）。

【1・2年次（編）入学者】 ■福祉心理士の申請について■

資格の申請は、卒業（必要科目の単位修得）後に各自で日本福祉心理学会へ行きます。「福祉心理士 資格申請の手引き」や日本福祉心理学会のホームページでご確認ください。

領域	指定科目名	本学の科目名	配当年次	履修方法	科目単位	履修方法 (合計32単位以上修得)
基礎科目	心理学	心理学概論A	1年以上	R or SR	2	合計6単位以上を単位修得のこと
		心理学概論B	1年以上	R or SR	2	
	福祉心理学	福祉心理学	1年以上	R or SR	2	
	社会福祉学	社会福祉原論A	2年以上	R or SR	2	
心理学関係科目		社会福祉原論B	2年以上	R or SR	2	4科目以上履修し、合計12単位以上を単位修得のこと
	臨床心理学	臨床心理学概論Ⅰ	2年以上	R or SR	2	
	心理査定法	心理的アセスメントⅠ	2年以上	R or SR	2	
	カウンセリング（心理相談）	カウンセリングⅠ	1年以上	S	1	
		カウンセリングⅡ	1年以上	S	1	
	心理療法	心理学的支援法Ⅰ	2年以上	R or SR	2	
		心理学的支援法Ⅱ	2年以上	R or SR	2	
	発達心理	発達心理学	2年以上	R or SR	2	
	障害者の心理	障害者・障害児心理学	2年以上	R or SR	2	
		老年心理学A	1年以上	R or SR	2	
社会福祉学関係科目	相談援助	老年心理学B	1年以上	R or SR	2	「相談援助」1科目必修、合計12単位以上を単位修得のこと
		ソーシャルワークの基盤と専門職	2年以上	R or SR	2	
	社会福祉学関係	児童・家庭福祉	1年以上	R or SR	2	
		高齢者福祉	1年以上	R or SR	2	
		障害者福祉	1年以上	R or SR	2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2年以上	R or SR	2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2年以上	R or SR	2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2年以上	R or SR	2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2年以上	R or SR	2	
		ソーシャルワークの理論と方法（精保専門）Ⅰ	3年以上	R or SR	2	
		ソーシャルワークの理論と方法（精保専門）Ⅱ	3年以上	R or SR	2	
		地域福祉と包括的支援体制A	2年以上	R or SR	2	
		地域福祉と包括的支援体制B	2年以上	R or SR	2	
医療・保健関係科目	精神医学	精神医学と精神医療Ⅰ	3年以上	R or SR	2	履修する必要はないが、履修した場合の扱いは※参照
		精神医学と精神医療Ⅱ	3年以上	R	2	
		精神疾患とその治療Ⅰ	3年以上	R or SR	2	
		精神疾患とその治療Ⅱ	3年以上	R	2	
	リハビリテーション学	リハビリテーション論	2年以上	R or SR	2	
	精神保健学	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2年以上	R or SR	2	
		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2年以上	R	2	

※心理学関係科目のうち2科目4単位、および社会福祉学関係科目のうち2科目4単位の計4科目8単位については、医療・保健関係科目（精神医学、リハビリテーション学、精神保健学）をもって代替できる。

3 その他心理学関連の資格と職業

臨床心理士

臨床心理士とは、臨床心理学など心理学の知識や諸技法を生かして、心の問題にかかわる「こころの専門家」のことです。仕事の内容には、主に、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理的地域援助、およびそれらの研究調査等があります。

臨床心理士の資格は、指定大学院修士課程において「臨床心理学」を専攻した後、「臨床心理士資格認定協会」の資格審査に合格すれば得られます。本学通学課程の「大学院修士課程福祉心理学専攻臨床心理学分野」は、資格認定協会から指定された第1種指定校ですので、修了すれば受験資格が得られます。

公認心理師

2022年度入学者に対する「公認心理師国家試験受験資格」の基礎資格が取得できる課程はありません。2017年4月入学以前入学者が可能な「法令上の特例要件による受験資格の基礎資格」の取得もできません。

心理学関連の職業

福祉心理学科では、社会の現場で、心理実践力を身につけ心理学を生かした仕事をする人材の育成を目指しています。そのため、保健医療・福祉・教育界などで心理学の専門的知識・技術をもった職員として、また、産業界で人事・教育・広告・調査・マーケティング・販売などに携わる職員として、その他地域のボランティア活動や家庭で、心理学を学び心理実践力を身につけた方の活躍が期待されています。

そのなかで、心理学を直接生かせる職種で、「心理判定員任用資格」の箇所（p. 39～40参照）で記載した職種以外では、下記のようなものがあります。

- ・少年鑑別所・少年院などの法務教官、法務技官（心理）、地方更生保護委員会や保護観察所の保護観察官＝いずれも法務省専門職員（人間科学）採用試験合格が必要
- ・家庭裁判所調査官＝家庭裁判所調査官補採用試験合格が必要
- ・国家公務員・地方公務員「心理職」
- ・スクールカウンセラー
- ・病院・施設・企業・相談所のカウンセラー、メンタルヘルス支援者
- ・被災者支援・犯罪被害者支援などを行う団体の職員

V

履修証明プログラム

履修証明プログラムとは、文部科学省の基準にそった「社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム」のことです。履修証明プログラムの修了者に対して学校教育法に基づく「履修証明書」が交付できることとなっています（詳細は文部科学省のホームページ参照）。

本学では、この制度を活用し、2022年度に次の3つのプログラムについて「履修証明書」を発行します。「履修証明書」の交付希望者は、各プログラムの科目表から本学での「履修方法」に記載の基準に沿ってスクーリングを90コマ以上受講し、スクーリング試験に合格してください。履修証明書の発行にあたっては、レポートを提出する必要はありません。

2022年度までにスクーリングを受講してください。2023年度まで継続が可能な場合はお知らせします。

社会福祉現場で働く方のための実践力養成プログラム

分野	科目名	コマ数	履修方法
福祉理論	社会福祉原論 A	8	20コマ 以上選択
	地域福祉と包括的支援体制 A	8	
	児童・家庭福祉	8	
	障害者福祉	8	
	高齢者福祉	8	
	介護論	8	
	現代の精神保健の課題と支援 I	8	
	NPO論	8	
福祉実践	ソーシャルワークの理論と方法 I	8	70コマ 以上選択
	ソーシャルワークの理論と方法 II	8	
	精神障害リハビリテーション論	8	
	ケアマネジメント論	8	
	認知症介護論	8	
	リハビリテーション論	8	
	福祉用具と生活支援	8	
心理理論	心理学概論 A	8	70コマ 以上選択
	心理学概論 B	8	
	人間関係論	8	
	社会・集団・家族心理学 A	8	
	産業・組織心理学	8	
	司法・犯罪心理学	8	
	老年心理学 A	8	
	老年心理学 B	8	
心理実践	カウンセリング I	8	70コマ 以上選択
	カウンセリング II	8	
	カウンセリング演習 I	8	
	カウンセリング演習 II	8	

カウンセリングの基礎を学ぶ

科目名	コマ数	履修方法
カウンセリングⅠ	8	16コマ必修
カウンセリングⅡ	8	
心理学概論A	8	34コマ 以上選択
心理学概論B	8	
感情・人格心理学	8	
福祉心理学	8	
臨床心理学概論Ⅰ	8	
心理的アセスメントⅠ	8	
ライフサイクルと福祉心理学	8	40コマ 以上選択
人間関係論	8	
カウンセリング演習Ⅰ	8	
カウンセリング演習Ⅱ	8	
特講・福祉心理学5	8	
特講・福祉心理学8	8	
特講・福祉心理学17	8	

社会福祉士・精神保健福祉士のための発達障害者の支援と心理的アプローチ

分野	科目名	コマ数	履修方法
発達障害	発達障害者の理解と支援	8	16コマ 必修
	発達障害者の地域支援	8	
福祉	児童・家庭福祉	8	74コマ 以上選択
	高齢者福祉	8	
	刑事司法と福祉	8	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	8	
	精神障害リハビリテーション論	8	
	認知症介護論	8	
	ケアマネジメント論	8	
心理	人間関係論	8	
	社会・集団・家族心理学A	8	
	社会・集団・家族心理学B	8	
	産業・組織心理学	8	
	司法・犯罪心理学	8	
	老年心理学A	8	
	老年心理学B	8	
	カウンセリングⅠ	8	
	カウンセリングⅡ	8	
	カウンセリング演習Ⅰ	8	
	カウンセリング演習Ⅱ	8	
	特講・福祉心理学5	8	
	特講・福祉心理学17	8	

防災士、睡眠改善指導者受験資格については〔本冊〕にてご確認ください。